

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	学校給食事業	会計	一般会計	事業No.	681	施策順No.	22-014
		事業種別	政策・その他	予算科目	10-6-4-10-1		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	学校教育課		
施策	22 義務教育の充実			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	児童・生徒						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		児童生徒数	9639	9599	9464	9352	9332	
		学校給食調理場数	7	7	6	6	6	
	意図	学校給食を楽しみにして健康で楽しい学校生活を送ることができる						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	学校給食に対する満足度(%)	99	99	99	99	99	99	A
	食中毒等事故発生件数	0	0	0	0	0	0	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	食中毒の発生を防止し、安心安全な学校給食の提供ができた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ol style="list-style-type: none"> 安心・安全な学校給食の提供 調理場の安定した運営 調理補助員の雇用、調理業務の委託 調理場の安全、衛生管理 栄養士・調理員の健康管理 栄養士による演習会等への参加 食育の推進 		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 安心安全でおいしい学校給食の提供 調理場の安定した運営 臨時栄養士ならびに臨時調理員の雇用及び調理業務の民間委託 学校給食用食器の一部更新 調理業務に必要な消耗品等の購入 安全、衛生的な作業のための業務の実施 専門機関による食材検査の実施 栄養士及び調理員の検便検査等の実施 栄養士会での安心・安全な学校給食の提供のための研修会等への参加 『飯田市食育推進計画』推進のための取組 域産域消を進めるための取組と生産農家との協議等関係者の連携強化 	1日の給食供給総数 調理場の数	9320食 6ヵ所
23年度実施計画	<ol style="list-style-type: none"> 安心安全でおいしい学校給食の提供 調理場の安定した運営 臨時栄養士ならびに臨時調理員の雇用及び調理業務の民間委託 学校給食用食器の一部更新 調理業務に必要な消耗品等の購入 安全、衛生的な作業のための業務の実施 専門機関による食材検査の実施 栄養士及び調理員の検便検査等の実施 栄養士会での安心・安全な学校給食の提供のための研修会等への参加 『飯田市食育推進計画』推進のための取組 域産域消を進めるための取組と生産農家との協議等関係者の連携強化 	1日の給食供給総数 調理場の数	9300食 6ヵ所

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		284,936	281,435	278,025		
計(A)		284,936	281,435	278,025		
正規職員所要時間			800			
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			2,861			
トータルコスト A+B			284,296			

4 事業に対する市民や議会の意見

保護者や市民からは、安全で安心な給食の提供を続けて欲しいという要望がある。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	学校給食の提供を通じて児童・生徒の生きる力を育む。	施策の成果指標又はムツ指標	学校が楽しいと感じている児童生徒の割合 ア)小学生 イ)中学生 体力測定の結果 ア)小学生 イ)中学生
この事務事業は施策の目的達成にどのような貢献しましたか	4年間の振り返り	・安心安全でおいしい給食の提供に努めた。		
	後期に向けた課題	・健全なる心身の発達のための安心安全な給食の提供をすることの検討を行う必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・職員の健康管理・衛生管理については、相応の出費をし食中毒等の予防に努めた。		
	後期に向けた課題	・平成21年に改訂された学校給食衛生管理基準では不適合となる給食施設を継続して使用することになるが、運営面で衛生管理に努め食中毒等の予防に努め運営していくこと。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・丸山・竜峡・矢高共同調理場の3カ所について、調理業務の一部民間委託を行ってきたが、丸山・矢高共同調理場を調理業務全面委託に、竜峡共同調理場を直営化した。		
	後期に向けた課題	・調理業務に関し施設の移転改築にあわせて民間委託についても検討していく。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・給食事業費は市負担であり、関与の程度は適当である。		
	後期に向けた課題	・給食事業費は市負担であり、関与の程度は適当である。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してありましたか	4年間の振り返り	・県費栄養士・市費栄養士・市費調理員・民間委託調理員・民間委託配送員によって職場を構成しており、各職の立場で安心安全な学校給食の提供に心がけてきた。		
	後期に向けた課題	・所属の異なる職員及び業者連携によって給食を提供している。安心安全な学校給食の提供を最前提に連携して取り組んでいく。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・食中毒の発生、異物混入による給食提供の中断等の発生はなく、安心安全な給食の提供に努めた。		
	後期に向けた課題	・健康管理・衛生管理に努め、安心安全でおいしい給食の提供を行うための研究。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------